

調査対象物質	分析法フローチャート	備考
[21]6-フェニル-1,3,5-トリアジン-2,4-ジアミン	<p>【水質】</p> <p>水質試料 200mL → 固相抽出 Sep-Pak Plus C18 10mL/分 → 溶出 メタノール 5mL</p> <p>濃縮 窒素パージ 1mL未満まで → 定容 メタノール/精製水(50:50) 1mL → LC/MS/MS-SRM-ESI-ポジティブ</p> <p>注) 濃縮及び定容を行わず、シリンジスパイクとしてシマジン-d₁₀を添加して実施された例があった。</p> <p>「平成19年度化学物質分析法開発調査報告書」 準拠</p>	<p>分析原理：LC/MS-SIM-ESI-ポジティブ</p> <p>検出下限値： 【水質】 (ng/L) [21] 1.0</p> <p>分析条件： 機器 LC：Alliance2695 MS：Quattro micro API カラム Inertsil Ph-3 150mm×2.1mm、3µm</p>
	<p>【水質】</p> <p>水質試料 300mL → 固相抽出 Sep-Pak Plus C18 10mL/分 → 溶出 アセトン 5mL</p> <p>濃縮 窒素パージ 0.5mLまで → GC/MS-SIM-EI</p> <p>「平成19年度化学物質分析法開発調査報告書」を参考に変更</p>	<p>分析原理：GC/MS-SIM-EI</p> <p>検出下限値： 【水質】 (ng/L) [21] 0.5</p> <p>分析条件： 機器 GCMS-QP2010 Plus カラム DB-5ms 30m×0.25mm、0.25µm</p>
	<p>【大気】</p> <p>大気 → 捕集 石英繊維ろ紙 10L/分×24時間 → 超音波抽出 アセトリル 5mL、5分×3回</p> <p>濃縮 窒素パージ 10mLまで → 遠心分離 3,000rpm、10分間 → LC/MS/MS-SRM-ESI-ポジティブ</p> <p>「平成19年度化学物質分析法開発調査報告書」 準拠</p>	<p>分析原理：LC/MS/MS-SRM-ESI-ポジティブ</p> <p>検出下限値： 【大気】 (ng/m³) [21] 0.019</p> <p>分析条件： 機器 LC：Agilent 1100 MS：Applied Biosystems API3200 LC：Shimadzu LC-20 MS：TSQ QUANTUM Discovery MAX カラム XBridge Phenyl 150mm×2.1mm、3.5µm CAPCELL PAK C18 100mm×2.1mm、3.0µm 又はHyPURITY C18 150 mm×2.1 mm、5µm</p>